

立山の歴史と観光

（ポスト・コロナ時代に立山観光の原点に立ち返る）

主催：北陸大学地域連携センター／読売新聞北陸支社
後援：富山県、富山県教育委員会、富山県ナチュラリスト協会、立山ガイド協会

参加費
無料

事前申込
定員120名

2021年度 北陸大学公開市民講座

3000m級の高山の自然を身近に楽しめる立山観光。その原点は、立山信仰の世界にあったといわれます。江戸時代から日本三霊山のひとつとして、巡礼の旅が盛んに行われました。全線開通50周年を迎えた立山黒部アルペンルートを開業した佐伯宗義氏も、立山信仰の拠点集落・芦峯寺（立山町）の出身。同ルート建設を立山の近代的な開山と位置づけ、自然や環境を守る工夫を施しています。本講座では、立山信仰の歴史・文化、立山観光の新しい取り組みに触れながら、ポスト・コロナ時代の持続可能な富山の観光について考えたいと思います。

2021年

日時

10月31日（日）

13:30～16:00（開場13:00）

場所

パレブラン高志会館

〒930-0018富山県富山市千歳町1-3-1

<プログラム>

13:30 開会挨拶 北陸大学副学長 桧森 隆一

13:35 第1部 特別講演「立山信仰の歴史と観光」
越中史壇会会長・元富山県[立山博物館]館長 米原 寛

14:05 第2部 基調報告 「エコロの森」代表取締役 森田由樹子
立山ガイド・エベレスト登頂者 佐伯 知彦
北陸大学国際コミュニケーション学部教授 福江 充

15:05 休憩

15:15 第3部 討論「ポスト・コロナ時代の立山観光」
司会・進行 北陸大学副学長・国際コミュニケーション学部長 桧森 隆一
パネリスト 米原 寛×森田由樹子×佐伯知彦×福江 充

15:55 閉会挨拶 読売新聞北陸支社長 野崎広一郎

16:00 終了

 北陸大学
HOKURIKU UNIVERSITY



立山の歴史と観光

～ポスト・コロナ時代に立山観光の原点に立ち返る～

第1部 (13:35～14:05)

特別講演「立山信仰の歴史と観光」

越中史壇会会長・元富山県[立山博物館]館長

米原 寛

【略歴】富山大学文理学部文学科卒業。1966年から2003年まで富山県立高校の教諭、校長。この間、県史編纂室主任、県教育委員会文化課文化財係長などを歴任。2013年3月まで[立山博物館]館長。現在、富山県日本海学術研究機構アドバイザーなども務める。



第2部 (14:05～15:05)

基調報告①

株式会社エコロの森代表取締役

森田由樹子

【略歴】北海道大学卒業後、読売新聞入社。記者生活を経て、2006年、富山に移住。2008年、富山の自然、歴史、文化を伝えるエコツアー会社「株式会社エコロの森」を創業。



基調報告②

立山ガイド・エベレスト登頂者

佐伯知彦

【略歴】立山信仰登拝の案内人だった曾祖父の佐伯平蔵は、剣岳の平蔵谷に名を残す名ガイド。立山ガイド「四代目平蔵」として、立山信仰の歴史や文化を伝える案内活動も行う。2019年5月22日、エベレスト登頂に成功。現在、さんぞく倶楽部代表、立山アドベンチャープロスキースクール校長(冬季)。環境省国立公園指導員、富山県自然保護指導員、立山遭難対策協議会隊員。



基調報告③

北陸大学国際コミュニケーション学部教授

福江 充

【略歴】富山県[立山博物館]学芸員、高志の国文学館副主幹学芸員を経て、現職。専門は日本の歴史学と民俗学。文学博士(金沢大学)。立山信仰史研究により第3回日本学術振興会賞、第24回とやま賞を受賞。



第3部 (15:15～15:55)

討論「ポスト・コロナ時代の立山観光」

司会・進行

北陸大学副学長・国際コミュニケーション学部長

桧森隆一

【略歴】1976年ヤマハ株式会社入社。営業、商品企画、経営企画を経て音楽企画制作室長として、自治体や公立文化ホールが主催するコンサート、音楽イベントのプロデュースに従事。2008年より嘉悦大学教授。2015年より現職。公共経営論、文化政策、アートマネジメント、指定管理者制度などを研究。



パネリスト

米原 寛×森田由樹子×佐伯知彦×福江 充

新型コロナウイルス感染拡大防止について

会場では、マスク着用、手指の消毒、検温の実施、咳エチケットなどの感染症予防にご協力をお願いいたします。また、発熱や風の諸症状がある場合は来場をお控えください。体温が37.5度以上の方は入場できません。

※新型コロナウイルス感染状況等により、本講座を延期または中止とする場合もありますので、ご了承ください。

延期又は中止の場合は大学ホームページ(<https://www.hokuriku-u.ac.jp>)にてご案内いたします。

立山は開山以来、多くの修行者や参詣者が訪れ、江戸時代前期からは富士山や白山と並ぶ日本三霊山のひとつとして、周辺の寺社や史跡、名勝も巡礼する「三禅定」とよばれる旅が盛んに行われていました。半世紀前の1971年に全線開通した立山黒部アルペンルートは、車の乗り入れが制限され広告看板も設置されないなど、自然や環境を守るための様々な工夫がされています。開業者の佐伯宗義氏は立山信仰の拠点集落・芦峯寺の出身で、アルペンルートの建設を立山の近代的な開山と位置づけていたからです。

現代の立山観光は、立山信仰の世界に端を発するといっても過言ではありません。本講座では、立山信仰の歴史・文化、立山観光の新しい取り組みに触れながら、ポスト・コロナ時代の持続可能な富山の観光について考えます。

お申込み方法

申込みは電話、FAX、E-mailまたはQRコードのいずれかにてお申し込みください。FAX、E-mailで申し込まれる方はお名前、連絡先(住所・電話番号)をお知らせください。なお、聴講券は発行しませんので、当日は直接会場にお越しください。

※ご記入いただきました個人情報は厳重に管理し、北陸大学が実施する各種講座等のご案内を差し上げる場合がございます。それ以外の目的で本人の同意を得ることなく、第三者に情報を提供することはありません。



会場アクセス



お問い合わせ

北陸大学地域連携センター

〒920-1180 金沢市太陽が丘1丁目1番地
TEL.076-229-6111 FAX.076-229-6112
E-mail: chiiki@hokuriku-u.ac.jp
<https://www.hokuriku-u.ac.jp>

北陸大学

検索